

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 真誠会	代表者	理事長 前田 浩寿	法人・ 事業所 の特徴	医療法人・社会福祉法人真誠会は、保健・医療・福祉のサービスに対応したホスピタウン ネットワークと、多くの資格取得者で構成されています。 真誠会医療福祉連携センターを中心に、米子（河崎）、弓浜（大崎）、富益、和田それぞれ がネットワークで繋がり、サービスの提供を行っております。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 真誠会プラザ	管理者	福島 知義		

1/27 当日 出席者	市町村職員 1人 ※1名、評価提出	知見を有するもの 0人	地域住民・地域団 体 4人 ※内、評価1名	利用者 0人	利用者家族 0人	地域包括支援セン ター 1人	近隣事業所 0人	事業所職員 2人	その他 1人	合計 9人
----------------	-------------------------	----------------	--------------------------------	-----------	-------------	----------------------	-------------	-------------	-----------	----------

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<p>①：年間を通じプラザ職員全員にて、事業所自己評価9項目の改善計画実践。</p> <p>②：12～1月に事業所自己評価を実践し、1月の地域運営推進会議にて自己評価の公表。</p>	<p>①：常勤スタッフ全員実施。13名中12名実施※1名は週28時間パート職員。 ※結果詳細は「事業所自己評価・ミーティング様式」参照</p> <p>②：年度内に評価を終了する為、予定より前倒しで12月に事業所自己評価を 実践。1月地域運営推進会議にて自己評 価の公表を行った。</p> <p><外部評価 項目> ・「前回の改善計画に対して、スタッフ全員 で具体的な取組みが行われていました か?」:6名「できていた」/6名</p>	<p>・日々の業務に取り組みながら目標を 持って取り組んでおられることがわか った。</p> <p>・自己評価の結果バランスも正常の範 囲で、努力の足跡が感じられる。</p> <p>・毎日の業務を行う中での取り組みは 大変だと思うが、少しずつでも進めて いってほしい。</p> <p>・できている事、できていない事がき ちんと整理されていると思う。</p> <p>・令和8年度から開始される、気象情 報の大幅な改正に伴う事業所対応が必 要となると考えられる。</p>	<p>①：年間を通じプラザ職員全員にて、事 業所自己評価9項目の改善計画実践。</p> <p>②：12月に事業所自己評価を実践し、 1月の地域運営推進会議にて自己評価 の公表。年度内に自己評価及び外部評 価の全てを実践し、公表する。</p>
B. 事業所の しつらえ・環境	<p>①：清潔で居心地の良い空間を継続実 践。</p> <p>②：敷地入り口の整備（看板の拡大化な ど）。随時進行状況を本部に確認。</p> <p>③：ホームページやInstagramに 動画での道案内を掲載、パンフレット 等に説明文やInstagramのQRコ ード掲載、電話対応用の説明文の作成。 それでも分かりづらい場合は、敷地入 り口にて職員が待機するなど工夫を実 践。</p>	<p>①：プラザの5S(整理・整頓・清掃・清 潔・躰)の課題を明確にし、3つの重点 項目を設定し取り組んだ。</p> <p>②：看板の見積もりを作成してもらっ ており、来年度中に新しく大きな看板 になる見込み。道路からプラザまでの 外灯への接触事故が今年度2回あり、 足元に外灯があることがわかりにく い。</p> <p>③：道案内の動画作成しパンフレット や名刺へQRコード掲載ができた。電話 対応用の説明文作成ができなかった。</p> <p><外部評価 項目> ・5項目中4項目6名「できていた」/6名 ・「日中、事業所の門や玄関にカギはかか っていませんか?」:2名「わからない」/6名</p>	<p>・屋内は明るく、清潔な雰囲気が良いと 思う。</p> <p>・明るく空間も広々として快適。</p> <p>・公道脇に事業所の看板が設置されて おりわかりやすい。</p> <p>・項目④「日中、事業所の門や玄関にカ ギはかかっていますか?」について は普段訪問していない為わからない。</p>	<p>①：5Sに配慮し、居心地の良い空間作 りを継続して実践する。</p> <p>②：敷地入り口の環境を整備(看板の 拡大化、外灯の配置検討)する。</p> <p>③：プラザへの道案内を電話や口頭で 説明する時用の説明文を作成する。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>①：事業所として地域の行事やイベントへ参加するなど地域に出向いていくとともに、地域の方にプラザにお越しいただけるイベントを企画・開催。</p> <p>②プラザの交流スペースを活用した定例のイベント（介護相談会等）を開催。</p> <p>③近藤自治会長へ、プラザ便りを地域の回覧板に挟んでもらうよう依頼。</p> <p>④地域の方向けの定例イベント等（上記①②）のチラシを作成し、近藤自治会長へ回覧板に挟んでもらうよう依頼。</p>	<p>①：納涼祭・文化祭・一斉清掃・防災訓練等の地域行事やイベントに出向いて参加することができた。餅つきイベントを開催し、地域の方に訪問していただけた。</p> <p>②：民児協議会や居宅連絡会等をプラザ交流スペースで開催できたが、介護相談会等の地域の方が参加してもらえないようなイベントの企画ができなかった。</p> <p>③：毎月依頼ができた。</p> <p>④：餅つきイベントの際にチラシを作成し、福生14区の回覧板に挟んでもらったが、近藤自治会長への依頼はできなかった。</p> <p><外部評価 項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5項目中3項目：6名「できていた」/6名 ・「事業所は、地域の方に知られていますか?」：2名「わからない」/6名 ・「何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか?」：3名「わからない」/6名 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に積極的に参加しており、努力されていると思う。 ・運営推進会議に職員が交代で参加されている。 ・地域とのつながりの重要性理解に役立っていると思う。 ・エリア外の公民館等にもPR冊子や案内等を送付されてはどうか。 ・②③については確認したことがないのでわからない。 ・餅つきに参加したが、とても楽しかった。 ・公民館便り、児童民生委員会、在宅福祉委員会を利用されてはどうか。 	<p>①：利用者と一緒に地域に出向いて行事やイベントに参加することを継続する。</p> <p>②：地域の方にプラザにお越しいただけるような定例イベント（居宅連絡会、民児協議会、介護相談会）や行事（餅つき等）を継続して実施。</p> <p>③：福生14区以外の地域（近藤自治会長、車尾公民館等）にパンフレットやお便り等配布を依頼する。</p> <p>④：②についてのチラシを作成し、地域回覧板で配布を依頼する。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>①：各ご利用者の地域との関わりや生活等について、送迎時や訪問時、電話などにてご本人ご家族の思いや悩み等を確認。</p> <p>②：①にて希望の実現や悩みごとの解決の為、受け持ち担当にて情報共有し、助言を行なう（必要に応じてご家族や地域の関係者、知人などに可能な範囲で協力をお願いすること含む）。状況に応じて事業所の職員も協力。</p>	<p>①：初回訪問時、随時モニタリング訪問時、送迎や訪問時に本人や家族に生活上の困り事がないか確認できている。地域との関わりについての聞き取りが不十分。</p> <p>②：必要に応じて職員間で情報共有し、本人・家族に助言している。以前と比較し、受け持ち担当が主となって動くことが増えてきている。利用者が住んでいる地域のイベントに職員も一緒に参加することができた事例あり。</p> <p><外部評価 項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5項目中1項目：6名「できていた」/6名 ・「利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか?」：2名「いいえ」/6名 ・「利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか?」：4名「わからない」/6名 ・「事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか?」：1名「わからない」/6名 ・「利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか?」：4名「わからない」/6名 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にできるだけ地域の行事に参加してもらっていると思う。 ・自治会長、児童民生委員、社会福祉協議会会長等と協力体制がしっかりしているのは大変良いことだと思う。 ・居宅連絡会、民児協の会、福生在宅ケア連携会等に参加されている。地域のネットワーク作りにつながり、地域包括ケアに役立っていくと思う。 ・それぞれの地域で生活されている利用者の全ての地区に対応するのは難しいと思う。 	<p>①：利用者が住んでいる地域との関わりについて、本人や家族に聞き取りを行う。必要に応じて、利用者の住む地域の方（隣人、民生委員等）を交えた会議を行う。</p> <p>②：利用者以外でご近所の心配な方がおられる場合に事業所に相談してもらおうよう、介護相談会を企画する。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>①：地域運営推進会議にて、地域での困りごと（高齢者についての心配ごと、対応や支援での困りごとなど含む）を聴取・共有。</p> <p>②：（①で挙がったことを）その場で、お答えできることは返答。返答が難しい場合は、事業所の職場会にて事業所職員とも共有し、協議・検討。</p> <p>③：②の場合、次回推進会議にて発表。</p>	<p>①：②：③解決した困りごとについての報告や発言はあったが、現状での困りごとについての聴取や共有ができなかった。</p> <p><外部評価 項目> ・5項目中5項目：6名「できていた」/6名</p>	<p>・会議に参加している人からの事例がなかったと思う。</p> <p>・日々の業務の他に各職員もよく頑張られているのがわかる。</p> <p>・事例検討等について会議参加者から出た意見を職員に伝えることで、とても励みになると思う。</p>	<p>①：地域運営推進会議にて、地域での困りごと（高齢者についての心配ごと、対応や支援での困りごとなど含む）を聴取・共有。</p> <p>②：（①で挙がったことを）その場で、お答えできることは返答。返答が難しい場合は、事業所の職場会にて事業所職員とも共有し、協議・検討。</p> <p>③：②の場合、次回推進会議にて発表。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>①：運営推進会議にて、事業所の防災計画やBCP（更新分含む）、それぞれ事業所が参加・実践した内容を公表する。</p> <p>②：防災訓練の日時を公表（6月・3月）し、事前に推進会議出席者へ案内状の送付（出欠確認含む）。</p> <p>③：（②の参加者も交え）年に2回、訓練の実施。</p> <p>④：地域の防災訓練の日時を情報収集し、（可能な限り）事業所として参加。</p> <p>⑤：災害時にプラザがどのような役割を持ち地域貢献することができるか（避難場所の提供等）を法人本部に確認。その指示を受けて具体的な計画を立案。</p>	<p>①：第2回の会議にて消防訓練（夜間想定）の報告を行ったが、BCPの詳細な点は発表できていない。</p> <p>②6月に消防訓練（夜間想定）の日時を公表し、案内状を送付。3月に日中想定で消防訓練（日中送迎）を実施したが、案内状の送付ができなかった。</p> <p>③6月に亀尾さんに参加していただいた（第2回の会議にて報告済み）。</p> <p>④1/18（日）福生東14区の防災訓練に参加（職員2名）</p> <p>⑤計画立案まで至らなかった。</p> <p><外部評価 項目> ・5項目中1項目：6名「できていた」/6名 ・「事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？」：1名「いいえ」/6名 ・「事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？」：1名「わからない」/6名 ・「事業所の防災訓練に参加したことがありますか？」：4名「いいえ」/6名 ・「災害時、事業所は頼りになりそうですか？」：2名「わからない」/6名</p>	<p>・きちんと取り組んでおられると思う。</p> <p>・災害は予測不能と思います。今できるだけの準備はされていると思う。</p> <p>・運営推進会議の参加者を交えた訓練を実施され、より効果的に行えたと思う。</p> <p>・災害時の地域貢献という視点についても検討されている。それを地域の方と共有すると、より良いと思う。</p> <p>・公民館等の地域行政とのタイアップが肝要だと思う。</p>	<p>①：運営推進会議にて、事業所の防災計画やBCP（更新分含む）、それぞれ事業所が参加・実践した内容を公表する。</p> <p>②：防災訓練の日時を公表（6月・3月）し、事前に推進会議出席者へ案内状の送付（出欠確認含む）。</p> <p>③：（②の参加者も交え）年に2回、訓練の実施。</p> <p>④：地域の防災訓練の日時を情報収集し、（可能な限り）事業所として参加。</p> <p>⑤：災害時にプラザがどのような役割を持ち地域貢献することができるか（避難場所の提供等）を法人本部に確認。その指示を受けて具体的な計画を立案。</p>

